

青空だより 同じ“空”の日は一日もない。

相談室「青空」カウンセラー 伊藤 充



私は毎日、保健室の中にある相談室に勤務していますので、慌ただしい高校生活を私もまさにリアルに体験しています。

自転車通学中に怪我をしたとか、学校には来てみたけれど朝から具合が悪いとか、朝からいろいろな生徒が顔を見せません。教室に行く前に一息ついてからと保健室に立ち寄る生徒もいます。お腹が痛い、頭が痛いという身体症状を入場券にして保健室を訪れる生徒の中には、実は高校生活に悩みを抱えている場合も多く、頻繁に来る生徒にはこちらから「最近なんか調子よくないね。なんかあった？」と聞くようにしています。そうすると泣きながら話し始める生徒もいて、相談室での面談に繋がります。継続した面談となる生徒から、私はいろいろな話を聞くことになりま

す。家族や友達、部活動のこと、そして自分自身のこと…。話をしながら泣いたり笑ったり、思春期の悩みは実に多岐にわたります。ここを何とかぐり抜けることができれば、大人になるともう少し楽になるよと心の中では思いながら話を聞きます。大人になっても、困ったら人に話を聞いてもらおうと思ったり、悩んだら立ち止まってもいいんだと思ってもらえるように、相談室で話をした体験がその後のきっかけになれば、というのが私の願いです。

相談室「青空」から窓いっぱい空を毎日眺めますが、一日として同じ空の日はありません。日大東北の生徒たちの高校生活も生徒の数だけ違って毎日過ぎていきます。ご心配なことがありましたら、いつでもどうぞお気軽にご相談ください。お待ちしております。

生徒支援室 電話024 (956) 8852 分室「青空」(保健室内…カウンセラー常駐) 電話024 (956) 8850

新任教職員紹介



中村 千尋【数学科】
なかむら ちひろ

この福島の地で生徒たちと日々を過ごせることをとても幸せに思います。日々の指導はもちろんですが、一人の大人として生徒から信頼される先生を目指します。これからよろしくお願ひいたします。



鈴木 翔太【地歴公民科】
すずき しょうた

今年度より東北高校に新規採用となった地歴公民科の鈴木翔太です。自分にできることから確実に。そして、生徒に信頼される教員になる所存です。



田中 界渡【情報科】
たなか かいと

今年度から情報科を担当する田中界渡と申します。母校である日大東北高等学校で働くことを大変うれしく思います。教員として1年目なので明るく、元気に頑張ります。これからよろしくお願ひいたします。



武田 幸子【国語科】
たけだ さちこ

こんにちは。国語の武田幸子です。2学年の古典と現代文を担当します。性格は明るく、若い時はサザエさん、最近はさつちこです。などと言っています。この素晴らしい学習環境の中、みなさんとともに言葉や物語の世界に没れることを幸せに願ひます。よろしくお願ひいたします。



伊藤 遼【英語科】
いとう りょう

1年生と2年生の英語の授業を担当することになりました。皆さんと英語を勉強できることがとても楽しみです。一生懸命頑張りますのでよろしくお願ひいたします。



佐野 慶一郎【数学科】
さの けいいちろう

数学を担当します。皆さんと一緒に学びながら、数学の楽しさを面白く、奥深さを伝えられる授業を目指します。数学好きが一人でも増えれば嬉しいです。よろしくお願ひいたします。



高橋 佑輔【数学科】
たかはし ゆずき

昨年度大学院を修了し、日大東北高校が初めての勤務校になりました。数学のことに限らず様々なお話をできたらうれしいです！よろしくお願ひいたします。



鈴木 久絵【家庭科】
すずき ひさえ

皆さんの人生がよりよいものになるように家庭科の授業を進めていきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。



小林 拓也【英語科】
こばやし たくや

一日一日を大切に謙虚に感謝の気持ちで忘れずに新しい一歩を踏み出せたらと思ひます。頑張りますのでよろしくお願ひいたします。



齋藤 直樹【保健体育科】
さいとう なおき

今年度から保健体育でお世話になります。身体を動かしてスポーツをするとき、頭を使って勉強に励むとき、全ての活動の源は「体力」です。保健体育を通して、身体の体力と心の体力を育んでいきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。



峯村 智志【保健体育科】
みねむら ともし

教員として母校に戻れたことに感謝し、陸上競技で培った経験を活かして生徒のみなさんとともに成長できればと思ひます。よろしくお願ひいたします。

編集後記

本誌発行117号になりました。人事異動に伴い、この仕事を引き継ぐことになりました。不慣れなため、多くの方々にご迷惑とご協力をいただき発行することが出来ました。感謝申し上げます。生徒の活躍がみえる広報誌にしたいと思ひます。

日大東北 広報誌 Vol. 117

日大東北 広報誌
Vol. 117

NIHON UNIV. TOHOKU
SINCE 1951
発行日 2022年7月8日
発行所 日大東北高等学校
編集所 日大東北高等学校広報部
https://www.tohoku.hs.nihon-u.ac.jp



東北高等学校選手権大会陸上競技男子 4x400mR 大会新記録で優勝!!

令和4年度のスタートに当たり 学校長 佐々木 稔

赤色のネクタイ・リボンの516人の新入生を迎え、令和4年度がスタートしました。今年度の入学式は新入生を一同に会して記念体育館で挙行し、保護者の皆様には式典の様子を控室にライブ配信する形で実施いたしました。感染防止対策として吹奏楽部の記念演奏を自粛するなど、まだまだ本来の式の形に戻ってはいませんが、新入生の皆さんと直接対面しての式が行えたことは、これまでよりも一歩前進することができたと感じております。また新緑まぶしい5月10日(火)には、校内体育大会も実施され、体育館ではマスクを着用しながらドッジボール、バレーボールが行われ、盛り上がりを見せておりました。今後も徐々に、感染対策を継続しつつ、平常の学校行事が行えるよう努力してまいります。

さて、施設の面ではその記念体育館が、本年6月から11月までの日程で、大規模な耐震補強工事に入りました。この体育館は昭和46年に竣工したもので、築50余年を経過しており、耐震補強が急務な状況となっております。3月16日深夜に発生した、福島県沖を震源とする最大震度6強の地震においても、窓ガラスが割れるなどの被害が発生いたしました。生徒の安全・安心を守るためにも必須の工事となりますので、何卒ご理解とご協力をお願いいたします。なおこの間、足場および建設事務所が設けられるため、正門脇と体育館前駐車場の一部の使用ができなくなります。送迎の際などに多少の支障が出ますが、ご協力をお願いいたします。

一方教学の面においては、新1年生より「新カリキュラム」

がスタートしております。地歴の必修科目として「地理総合」「歴史総合」が、公民の必修科目として「公共」が新設されるなど、従前のカリキュラムとは大きく異なるものとなっております。また、新カリキュラムにおいては、知識の蓄積だけではなく、自ら課題を発見し、主体的・協働的に探究し、成果等を表現していきけるような、学びの質や深まりが重視されております。本校においてはその目標を達成すべく、日本大学工学部と連携した「ロハス探究」活動の推進にも力を入れており、その成果が期待されているところです。

本誌117号は、このコロナ禍の中、さまざまな制約を強いられつつも、「対策をして楽しむ日大東北」という今年度の努力目標のもとに展開された、1学期の学校生活や部活動の記録です。この中には、新青森県総合公園陸上競技場で開催された陸上の東北大会において、齋藤慧舟君の男子100メートル優勝(10秒67)、三瓶祐紀君の男子八種競技優勝(5,492点)、根本穂波さんの女子砲丸投げ優勝(12メートル82)、男子1600メートルリレー優勝(佐藤唯、星友哉、菊池聖真、齋藤慧舟、3分12秒61=大会新)をはじめ、大きな成果をあげた生徒の活躍も紹介されています。

どうかこれをご高覧いただき、躍動する本校生徒の成長の姿を、今後とも応援していただければ幸いです。



Topics

4/7 Thu

入学式 第72回入学式新入生代表宣誓



桜のつばみもほころび始め、美しく咲き誇る桜と新たな出会いが待ち遠しい季節となりました。このよき日に、私たち516名は、本日、伝統ある日本大学東北高等学校に入学できたこと大変嬉しく感じております。同時にこのような時勢にも関わらず、感染対策を講じて盛大に式を挙行して下さったこと、先生方に感謝申し上げます。

私たちは、義務教育を終え、それぞれの夢を実現するために大きな期待を胸に、本日門をくぐりました。これまで度重なる新型コロナウイルスの感染拡大により、多くの学校行事が中止や規模縮小になってしまい、残念な思いもたくさんしてきました。

令和4年度も、引き続き制限が続くとは思いますが、それぞれ夢の実現に向け高校生活を充実させたい、と強く感じているでしょう。そういう時代を生きる私たちにとって、『自主創造』の精神で、どんな環境におかれても、決して諦めず、状況を的確に捉え、最適解を模索しようとする向上心が大切だと思います。時に、決して一人では乗り越えられないような困難にぶつ



かることもあるでしょう。だからこそ、『忠恕の心』で相手と接し、多様性を重んじ、互いを認め合い、真の友情を築き上げることも肝要なのだと思います。「少年老い易く学成り難し」3年間はあっという間に過ぎてしまいます。卒業後だけでなく、将来を見据え、今を生きることがとても大切だと考えます。校訓を胸に刻み、よりよい自分に成長していけるよう勉強だけでなく、諸活動にも全身全霊で臨みたいと思います。

結びに本日入学式を挙げていただくことに深く感謝するとともに、家族や先生方、これまでお世話になった方々への期待に恥じない高校生活を送ることを誓い、新入生代表誓いの言葉と致します。

令和4年4月7日

日本大学東北高等学校 令和4年度新入生代表

小室 萌果 (中島中出身)



4/8 Fri

対面式・着任式・始業式

各クラス Live 配信にて、対面式・着任式・始業式が行われた。対面式では新入生代表薄井香花さん(須賀川第二中出身)が高校生活への抱負を述べ、生徒会長重川柊晴さん(安積中出身)と挨拶を交わした。着任式では今年度から着任される先生方より挨拶をいただいた。最後に始業式が行われ、校長先生、教務部主任、生活指導部主任の講話があった。



Topics

MOS世界学生大会2022 日本代表選考会で入賞

MOS (マイクロソフトオフィススペシャリスト) 世界学生大会 2022 日本代表選考会 Word 部門で中村優妃さん(日和田中出身)が入賞した。

中村さんは幼いときから教室に通い、パソコンに親しんできた。高校生では取得者が少ないMOSだが、社会に出る上で大いに活用できる資格であると考え、自身のスキルアップのためにMOS取得に挑戦した。

今回は惜しくも日本代表を逃したが、次回の大会ではExcel部門で満点を取り、日本代表になりたいと抱負を語った。



7日 第72回入学式

8日 始業式

11日~13日 健康診断・身体測定・歯科検診

20日 基礎学力到達度テスト(1・2年)

21日 基礎学力到達度テスト(3年)

30日 学級懇談会

4
Apr

2022 Event Calendar

5
May

2日 生徒総会

10日 校内体育大会

23日~26日 1学期中間試験

30日~6月18日 教育実習

6
Jun

1日 衣替え

5日 第48回吹奏楽部定期演奏会

16日 第1回献血

18日 数学検定

19日 漢字検定

28日~7月1日 1学期期末試験

7
Jul

9日 アカシヤ祭学内公開

20日 終業式

Topics

Topics

日本大学附属高等学校特待生・日本大学東北高等学校奨学生 日本大学東北高等学校桜蕾会奨学生(体育)決定

日本大学東北高等学校奨学生

種別	学年	氏名(組数)	氏名(組数)
第1種	1学年	吉田 吏南 (2組)	圓谷 暖 (3組)
		渡辺 音想 (5組)	吉田由紀恵 (7組)
		曾根 勇稀 (8組)	小室 萌果 (9組)
		迎 彩花 (10組)	上遠野瑞希 (11組)
	2学年	薄井 香花 (12組)	松尾 紗希 (12組)
		七海 天宥 (7組)	小室 陽詩 (9組)
		橋本 歩実 (9組)	大堀 莉心 (9組)
		大武 瑠那 (11組)	磯海 瑛斗 (13組)
	3学年	影山 聖 (14組)	沼田 星那 (14組)
		佐藤 蒼 (14組)	
		草野 陽琉 (2組)	西澤 由莉 (3組)
		猪狩 美波 (4組)	村上 凜奈 (5組)
第3種	3学年	清水 彩乃 (8組)	熊谷 帆高 (9組)
		橋本 瞳 (10組)	米川 由真 (10組)
		柳沼 尚希 (11組)	香西 凜明 (13組)
第3種	3学年	齋藤 慧舟 (1組)	

日本大学東北高等学校桜蕾会奨学生(体育)

部	人数	学年	氏名(組数)	氏名(組数)
野球部	10名	3学年	白石 大葵 (1組)	奈須 優翔 (1組)
		2学年	佐藤 蒼士 (8組)	
	1学年	浅倉 七星 (1組)	馬場 真大 (1組)	
		堀米 涼太 (1組)	天羽 俊介 (1組)	
		飯野 幹太 (1組)	鈴木良意斗 (1組)	
		山田鼓太郎 (1組)		
陸上競技部	9名	3学年	田中 凜葵 (1組)	根本 穂波 (1組)
		2学年	橋本 羽奈 (1組)	
	1学年	曲山 純平 (1組)	三宅 花音 (1組)	
		箭内 洸斗 (1組)		
		近藤 美憂 (1組)	陣野 莉心 (1組)	
		滝深 心咲 (1組)		
水泳部	1名	1学年	菅野 楓 (1組)	
バスケットボール部	5名	3学年	猪狩 圭 (1組)	大河原 漣 (1組)
		2学年	根本 明武 (1組)	
	2学年	鈴木 拓磨 (1組)	棚木 成伊 (1組)	
		佐藤 悠佑 (1組)	工藤 礼暖 (8組)	
相撲部	2名	2学年		

Topics

令和4年度 後援会・桜蕾会の新役員

令和4年度 後援会役員名

- 名誉会長** 佐々木 稔 (校長)
会長 宗像 俊樹 (3年5組)
副会長 永崎 貴宏 (3年4組) 菊地 大介 (2年7組)
 安齋 淳 (1年1組) 花里 昌昭 (教頭)
会計 矢吹 忍 (2年4組) 秦 雅 (職員)
監事 鈴木 秀典 (2年8組) 小野寺和教 (1年7組)
 佐藤 睦浩 (教諭)
桜蕾会幹事長 早田 宗弘 (教諭)
庶務 猪山 勝弘 (職員)

1学年委員

- 安齋 淳 (1組) 持地 理恵 (6組) 添田 春恵 (9組)
 國分由紀枝 (2組) 小野寺和教 (7組) 大田 綾子 (10組)
 渡邊 厚 (2組) 横田 明香 (7組) 桑島真以子 (10組)
 圓谷 沙織 (3組) 赤井田仁子 (8組) 志水美紀子 (10組)
 江連美紀子 (4組) 藤田 幸子 (8組) 武藤まり子 (11組)
 橋本 昌子 (5組) 與那嶺玲子 (8組) 村上 和広 (11組)
 星 美穂 (5組) 石黒 広美 (9組) 嶋崎 雄一 (12組)
 宗形 香里 (6組) 佐藤真由美 (9組) 菅澤 千加 (13組)

2学年委員

- 佐藤まど香 (1組) 佐藤 春奈 (7組) 深谷 直子 (10組)
 塩澤 恵美 (2組) 苑田 佳孝 (7組) 石井 隆士 (11組)
 古川 敦子 (2組) 菊地 大介 (7組) 島木 充代 (12組)
 山口久美恵 (3組) 菊地あさみ (8組) 西村 修一 (13組)
 鈴木 晃 (4組) 工藤みどり (8組) 大竹智亜理 (14組)
 矢吹 忍 (4組) 鈴木 秀典 (8組) 山田 満憲 (14組)
 桐生奈津子 (5組) 日野みわ子 (8組)
 村上 恵美 (6組) 佐藤 涼子 (9組)

6/5 Sun

吹奏楽部定期演奏会

須賀川市文化センターにて「第48回日本大学東北高等学校吹奏楽部定期演奏会」が行われた。

コロナ感染症の影響で3年ぶりに開催され、日頃の練習の成果を披露した。



3学年委員

- 佐藤 重昭 (1組) 市川 由里 (5組) 高橋 秀和 (8組)
 新藤 恭子 (2組) 高橋 千絵 (5組) 沼田 美紀 (9組)
 松本 美喜 (2組) 宗像 俊樹 (5組) 齊藤由美子 (10組)
 大内 直子 (3組) 上原 千文 (6組) 高橋 尚恵 (11組)
 深谷 美和 (3組) 芳賀 知美 (6組) 水野 透 (11組)
 渡邊 香 (3組) 赤松 幹也 (7組) 青戸美智子 (12組)
 加瀬 裕子 (4組) 坂場奈保美 (7組) 先崎 勝人 (12組)
 永崎 貴宏 (4組) 石井 康弘 (8組) 相樂 秀博 (13組)

	委員長	副委員長
1学年	赤井田仁子 (8組)	橋本 昌子 (5組) 横田 明香 (7組) 菅澤 千加 (13組)
2学年	石井 隆士 (11組)	深谷 直子 (10組) 島木 充代 (12組) 大竹智亜理 (14組)
3学年	水野 透 (11組)	赤松 幹也 (7組) 高橋 尚恵 (11組) 相樂 秀博 (13組)

後援会・桜蕾会役員

- 名誉会長** 佐々木 稔
副会長 花里 昌昭
委員 小野信太郎
委員 秋山 浩樹
委員 小池 純一
委員 川野 貴光
委員 鈴木 典行
委員 和泉 賢一
委員 石川 高遠
委員 松崎 一寿
委員 田澤 茜
委員 芥川 敦
委員 村上 辰実
庶務 猪山 勝弘
会計 秦 雅

桜蕾会幹事

- 幹事長** 早田 宗弘
幹事 小野信太郎
幹事 猪山 勝弘
幹事 佐藤 貴士
幹事 花里 昌昭
幹事 和泉 賢一
幹事 小池 純一
幹事 高須 章光
幹事 芥川 敦
幹事 鈴木 典行
幹事 松崎 一寿
幹事 向田 祐樹

6/16 Thu

献血への協力

今回は2・3年生のみの参加であったが、事前の啓蒙活動の効果もあって申し込み人数は過去最多の191名であった。

当日は188名が献血に協力した。



5/30 Mon ~ 6/18 Sat

教育実習

5月30日(月)から6月18日(土)の3週間にわたり、18名の教育実習が行われた。実際に教壇に立って、生徒と向き合いながら、現場でしか得られない多くのことを学んだ。18名の皆さんの今後のご活躍を期待しています。

教育実習を終えて

私にとって教育実習での経験は人生のなかで最も濃く貴重な3週間となりました。実習が始まるまではなかなか実感が湧きませんでしたが始まってからは毎日があっという間で一日一日学び得るものが多く大変勉強になりました。教材研究を進めていくなかで教師の責任の重さや大変さを知り、私は教師に向いているのだろうかと思ひ時もありました。しかし、自分の考え方が変わり、教師としてのやりがいに気付いた期間になりました。

様々な課題にぶつかりながらも多くのことを吸収する姿勢を大切にされた実習期間、そのなかでも特に印象に残ったことがあります。それは、授業に対する「教えること」の難しさです。授業形態については、本校ではICTを活用した授業が軸となり私の高校時代とは異なる形となっていました。そのため、最初は、どのようにして生徒を惹き付ける授業作りをするかが課題となりました。

参観授業を通して、生徒の惹きつけ方や授業方法を学ぶことになり、実習生の視点から見ると、新鮮で学ぶことが多く、先生の1つ1つの問いかけや生徒への気配りに感動し「自分もこんな授業をしたい!」と、目標になりました。指導教諭の先

出身学部の紹介と、在校生への言葉

日本大学国際関係学部は静岡県三島市にあり、毎日美しい富士山を見ながら授業を受けたり、通学できます。

授業は英語の歴史、発音法、文法、長文読解、リスニング、英会話など英語の全てを学ぶことができ、さらに英語だけでなく10以上の言語について学ぶことができます。また現在はコロナウイルスの影響であまりできておりませんが、留学制度も豊富であり、2週間という短いものから2年という長いもの

Topics

日本大学奨励賞受賞

令和3年8月22日から25日に大阪府で開催された「全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会」の女子3mシンクロナイズドにおいて、第4位に輝いた功績が称えられ、水泳部の西川炎歩さん(安積中出身)が日本大学奨励賞を受賞した。



芳澤 奈実乃 (日本大学文理学部社会学科)

生は、いつも生徒に対して真っ直ぐで、メリハリがあり、毎日私の指導にも親身になって支えて下さりました。そのなかで特に自分の知識量の少なさと教材研究の足りなさを実感しました。「教える」ということは内容を深く噛み砕いた「心で教える」ことである、と教えていただきました。

担当科目である公共・倫理は文章だけでは伝わりづらく、理解するまで時間がかかります。そこで、これまでの経験談を例え話に取り入れるようにしました。その結果、生徒からの反応も良く興味を持ってくれたように思います。50分という限りある少ない時間のなかでどこで生徒の心を掴み授業の山場をもっていかを日々考えながら、良い授業とは教材研究の繰り返しだと分かりました。

短期間ながらも教師として生徒の成長を近くで見守り、笑顔やあたたかい言葉に勇気づけられ、私自身様々なことを学び感じることができました。この経験を活かして、これからも目標に向かって頑張っていきたいです。



原口 将希 (日本大学国際関係学部国際教養学科)

まであります。言語だけではなく、各国の文化、経済事情、観光資源などについても学ぶことができます。

在校生のみならず、高校生という時間は限られています。勉強も部活も、何においてもやり残さないように高校生活を楽しんでください!



Topics

書道愛好会設立

書道愛好会は書道を通して書くことや、表現する面白さを味わい、楽しく活動しています。また、書き初め展やたなばた展などのコンクールに出品し、より良い作品を出せるように頑張っています。これから文化祭などの展示なども積極的に参加し日大東北高等学校の愛好会として精進していきたいと思っています。

代表 鈴木 莉凧 (安積中出身)



5/10 Tue

校内体育大会

校内体育大会が行われ、3年男子がソフトボール、2年男子がサッカー、1年男子がドッジボール、女子は全学年バレーボール、全クラス対抗の長縄跳びでそれぞれ競い合った。新型コロナウイルス感染防止対策を講じた大会であったが、天候にも恵まれ、2年ぶりの体育大会に生徒たちはハツラツと参加した。

3 学年 共通長縄					
1 学年	2 学年	3 学年	1 学年	2 学年	3 学年
1位 3組(186回)	1位 11組(209回)	1位 13組(189回)	2位 12組(177回)	2位 1組(185回)	2位 4組(173回)
2位 12組(177回)	2位 1組(185回)	2位 4組(173回)	3位 9組(170回)	3位 14組(172回)	3位 11組(171回)



1 学年			
男子ドッジボール		女子バレーボール	
1位	1組	1位 Aリーグ	2組
2位	9組	Bリーグ	7組
3位	2組	Cリーグ	10組
		Dトーナメント	9組

2 学年			
男子サッカー		女子バレーボール	
WestAブロック 1位 2組		1位 Aリーグ	7組
Bブロック 1位 7組	West 優勝 2組	Bリーグ	9組
EastAブロック 1位 6組		Cトーナメント	12組
Bブロック 1位 8組	East 優勝 8組	Dトーナメント	10組

3 学年			
男子ソフトボール		女子バレーボール	
1位	1組	1位	13組
2位	6組	2位	10組
3位	8組 12組	3位	1組 9組

●前号のお詫びと訂正●

116号 Topics 令和3年度文芸コンクール入賞者の記事の中で小説の部最優秀賞受賞者 佐藤鈴夏さんの学年を「2年」と表記しておりましたが、正しくは「1年」でした。ここに深くお詫びし訂正致します。

教務部だより

教務部だよりII

生活指導部だより

教務部だより

「新学習指導要領」と本校の取り組み

教務部主任 秋山 浩樹



令和4年度新入生より、全国の各高等学校が新学習指導要領に基づく新しいカリキュラムを導入しました。新学習指導要領の目的は、『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体的な充実を通じた主体的・対話的な学びの実現です。新学習指導要領への切り替えという節目にあたり末松文部科学大臣が発出した「高等学校の教育に関するメッセージ」の中から、教務部として印象に残った3点を紹介します。

- 1 「情報活用能力」を学習の基盤となる資質・能力の一つとする。
- 2 「1人1台端末」の環境の整備は、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させる。
- 3 高校生達は「非連続的」と言えるほど急激に変化する社会に羽ばたいていくことになる。高校生が多様化する中において、多様な他者と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となっていくために必要な資質・能力を身につけさせることが極めて重要。

本校では、令和2年度入学生以降「iPad 1人1台」の環境を整え、様々な教育活動で活用しています。ロイロノート(学習支援ツール)による授業のICT化、キャリア探究・ロハス探究などの主体的探究活動などはその一例です。生徒たちは日々の活動で身につけたICT活用を生かし、コロナ禍でありながらもアカシヤ祭などの学校行事を成功させてきました。この成功体験は将来大きな社会的変化に直面した時にも活かされ、様々な技術、知識、アイデアを組み合わせ乗り越えることができるでしょう。

以上のように、本校では数年前より文科相が求めるような「社会に羽ばたいていく者として培うべき資質・能力」を育む教育活動を導入し、見直しを繰り返し、発展させてきました。日大東北高校の日々の生活には成長の種があります。毎日丁寧を過ごし、豊かな人生と持続可能な社会を創る力を身につけて欲しいです。

教務部だより

教務部だよりII

生活指導部だより

教務部だより IIコース

2022年度大学入試結果 国公立大合格40名 日本大学医学部・獨協医科大学医学部(既卒生)合格



特別進学コース(IIコース) 土屋 秀夫

2022年度入試のIIコースの大学合格状況をお知らせ致します。国公立大学には現役生38名と既卒生2名の計40名が合格しました。また防衛大学校(1名)、私立大学では、明治大学(2名)、立教大学(3名)、青山学院大学(1名)、中央大学(2名)、法政大学(1名)、日本大学医学部(1名)、獨協医科大学医学部(1名)などへの合格が報告されています。

69期生の大学受験は、昨年と同様に新型コロナウイルス感染症に翻弄されました。が、その厳しい状況のなか、2年連続で40名を超える生徒が国公立大学に合格。現役合格率は39.2%と過去5年間の中では最も高い合格率となりました。

2年目を迎えた大学入学共通テストは、数学I・Aや数学II・Bが難化し、多くの国公立大で必要となる7科目の平均点(900点満点)は文理共に6割を切る結果になりました。生徒たちは共通テストの自己採点での得点は結果として受け止め、気持ちを切り替えて、2次試験対策講座や個別指導にも意欲的に参加。教室や自学室なども積極的に利用して最後の最後まで諦めずに粘り抜きました。厳しい判定値からの逆転合格や追加合格を勝ち取った生徒もあり、「チーム有馬」(IIコース3年担任団)の最後まで諦めない姿勢がしっかりと結果に結び付いた入試となりました。

国公立大学合格者数

※短期大学含む

弘前大	1	岩手大	1	宮城教育大	1	秋田大	2 (1)	山形大	1
福島大	5	宇都宮大	1	茨城大	2	埼玉大	3	千葉大	(1)
電気通信大	1	信州大	1	山梨大	1	公立はこだて未来大	1	福島県立医科大	6
会津大	4	高崎経済大	2	横浜市立大	1	都留文科大	1	新潟県立大	2
兵庫県立大	1	福山市立大	1	山形県立米沢短大	1				()内、既卒生

教務部だより

教務部だよりII

生活指導部だより

生活指導部だより

今年度の指導目標とお願い



生活指導部主任 石川 高遠

今年度の指導目標

今年度の生活指導部は、以下の項目を指導目標としています。

- 1 自立心・自立意識の育成
- 2 安全教育の徹底
- 3 人権の尊重

「1. 自立心・自立意識の育成」については、生徒自身が自ら考え、責任ある行動をおこすことを目的としています。毎月の身だしなみ向上週間などの活動を通して、基本的な生活習慣の確立と校則を遵守する意識を育成していきたいと考えています。

「2. 安全教育の徹底」については、交通法規や交通マナーの遵守、緊急時の対応に重点を置いています。5月の交通安全週間では、教職員と交通安全委員の生徒による登校指導を実施しました。また、全生徒に「緊急時対応マニュアル」を配布し、通学中の交通事故や水害・地震災害時における対応等について指導を行いました。

「3. 人権の尊重」については、特に情報モラルに関する指導に重点を置いています。5月26日に外部講師による「スマホ安全教室」を実施し、インターネットやSNSを使用する際の安全、安心な使い方についての講演会を行いました。今後もSNSにおける危険性をふまえ、軽い気持ちで行ったことが加害者にも被害者にもなる恐れがあることを、生徒たちにとりかかりと理解してもらうように指導してまいります。

交通事故

令和3年度の本校生の交通事故は34件でした。今年度は4~5月の2ヶ月間で、自転車による交通事故が16件発生しております。昨年の同時期(6件)と比較すると倍以上の数字で、中には骨折など重傷となるものもありました。また、このうち13件が1年生で、4月から初めて自転車通学をする生徒が多いことから、運転技術的な部分にも原因があると考えます。6月以降の交通事故件数は減少しておりますが、引き続き交通ルールや交通マナーに関する指導を行ってまいります。

なお、前述のとおり「緊急時対応マニュアル」による指導もあって、事故に遭った生徒のほとんどが、すぐに保護者や学校に連絡をしたり、相手の方と連絡先を交換するなど、きちんとした対応がみられました。万が一事故に遭遇したときは、マニュアルに従って落ち着いて行動し、最終的には保護者や学校、警察等に解決してもらうようご指導下さい。

自家用車での送迎

登下校時とも自家用車による送迎が増えています。現在、本校記念体育館の改修工事により校内の駐車場や一部道路の通行が制限されており、保護者の皆様には大変ご迷惑をおかけしております。徒歩・自転車通学の生徒と交差する危険性もありますので、学校敷地内ではくれぐれも徐行運転で通行していただくとともに、必ず警備員や教職員の誘導に従って下さい。また、雨の日や土曜日は送迎の数が多く、特に朝8時以降は学校周辺の道路が大渋滞となることもあります。朝の送迎の際には出来るだけ時間に余裕を持って(可能であれば8時頃までに)来校していただくよう、ご協力をお願いいたします。

学年だより

1
学年

1 学年主任
川野 貴光



主体性と協働性の育成

令和4年度1学年の目標を「主体性と協働性の育成」と掲げています。子どもたちの卒業までに、主体的に考え・行動し、他者と協働して何かを成し遂げようとする態度を育成したいと考えています。

技術革新等による変化の激しいこれからの社会において、常に学び続けることが求められます。高校生活で身に付けたことを土台に、未知の課題や答えの見えない課題に対しても意欲的に取り組める人間性を養ってほしいと思っています。そのために、子どもたちが、毎日の生活のなかで、他者から注意を受けるから行動するのではなく、自らの意思で、適切な行動ができるように支援していきたいと考えています。

また、今後ますますグローバル化が進む社会において、異なる文化や価値観、自分とは異なる能力をもつ多くの人と協働することが大切です。多様性を認め、それぞれの価値観を大切に、他者と協働していく資質を、学校生活を通じて身に付けてほしいと思っています。

これらを目標に、生徒たちが主体的に考え行動し、互いに協働して活動できる教育活動の実践を目指し、担任・教科担当・部活動顧問等一同、全力で臨みたいと思っています。

高校3年間は、子供たちが大きく成長していく時期であると同時に、時には心が不安定になる時期でもあります。学校とご家庭が連絡を密にし、共に協力し合い、しっかりと手を携えて子どもたちを支援していくことが大切であると考えます。子どもたちが将来、生き生きとした生活を送り活躍することは保護者の皆様と我々教職員の共通の願いです。子どもたちの健やかな成長のために、何かありましたら遠慮なくご相談いただければ幸いです。

2
学年

2 学年主任
松崎 一寿



進路実現に向けた新たなステップ

2年生に進級して、お子さまの様子はいかがでしょうか？ 4月の新クラス発表を経て、少しいつもとより様々な部分で頑張っていた時期があり、5月の連休で少し休んで模擬試験、体育大会、定期試験、文化祭と過ごしてまいりました。新型コロナウイルス感染者を多く出すこともなく、ここまで学校生活を過ごすことができたのは、ご家庭の協力もあってのことと思います。

今年度、学年の目標として、「①進路目標の確立と更なる学力向上」、「②協働活動を通じた成人へのステップアップ」、この2つを掲げています。この2年生で、お子さまの卒業後のイメージを具現化し、より具体的に進路実現に向けた方法、必要な学力等を知識として蓄えていってほしいと考えております。また、昨年に比べて今年は学校行事を多く行えそうです。クラスの仲間と協力し、何かを成し遂げることで、他者への思いやりや礼儀など、コミュニケーション能力を更に高め、18歳（成人）へのステップアップを行ってほしいと考えております。

文化祭も終わり、いよいよ夏休みですが、お子さまには「オープンキャンパス」に参加してほしいと望んでおります。今年是对面を実施する学校も増えてきています。この2年生のうちに1カ所でもよいので、「オープンキャンパス」に参加し、自分の肌で感じてきてほしいと思います。もちろんwebでの参加でもいいと思います。お子さま本人が興味のある学校を調べることが目的です。実際に調べてみて、「自分がイメージしたのと違う」と感じて、「イメージ通り」と感じていても収穫です。来年の夏には、受験に向けた具体的な動きをしている頃です。是非、今年の夏から進路実現に向けた新たな動きを始めてください。

9月1日から新学期スタートになります。夏休みは長いですが、お子さまの生活リズムが崩れないよう、保護者の方からも声掛けをお願いいたします。

3
学年

3 学年主任
鈴木 典行



夏を制するために・・・

「夏を制する者は、受験を制す」保護者の皆様も、この言葉をよく耳にされていたことと思います。この言葉の通り、夏季休業中の努力が進路希望を実現させることには大切です。

また、進路希望を実現させる上で、「明確な目標を持つこと」も大切です。「こうなりたい」「こうしたい」という目標は意欲を引き出し、物事に能動的に取り組む原動力となります。目標が明確であれば、目標を達成するための行動を起こし、行動を起こせば、目標達成に近づくことができます。しかし人間は怠けがちであり、必要がない限り行動をしようとはしません。そこで、保護者の方には、ご子女と夏季休業中に進路希望、生活の仕方などをぜひ話し合っていたほしいと思います。

今後心配されるのが、受験に対する不安から「早く受験を終わらせたい」と考えるあまり、安易に学校推薦型選抜方式（公募制・指定校制）や総合型選抜方式を考えてしまうことです。このような場合、「入れるところ」を探した結果、合格した後、志望と違っていたが、辞退ができなく不本意入学を強いられる危険もあります。また、保護者の方も、親心から「早く受験を終わらせてあげたい」と思うこともありますが、このような事態にならないためにも、お子さまの意思を確かめ、志望校・受験方法を検討していただきたいと思います。

「受験」で一番不安を抱いているのは、お子さま本人です。保護者の方は、寄り添い最後まで成長を信じて見守って頂きたいと思います。

生徒一人一人が「やりきった」と思える進路選択とその目標の達成のために、保護者の皆様と3学年会一同、力を合わせて、この夏を充実した期間としていきましょう。

県大会については3位以上を掲載
東北大会については入賞者、全国大会については出場者を掲載
()は出身中

第39回福島県ダブルステニス選手権大会

硬式テニス部 [福島市庭球場：4/16]

女子ダブルス 3位 横田 結衣 (郡山七)

第10回福島県7人制ラグビーフットボール大会

ラグビー部 [いわきグリーンフィールド：4/22～4/23]

ベスト4 北村 優空 (大槻) 小林 優太 (逢瀬)
柳沼 康生 (郡山六) 遠藤 和彦 (西田学園)
齊藤 翔 (富田) 市川 大貴 (郡山二)
太田 獅月 (郡山六) 大西 一成 (明健)
円谷 壮 (須賀川三) 長谷川大樹 (安積二)
渡邊 寧音 (仁井田) 森山 優太 (小原田)
松井 優里 (三穂田) 石川 颯馬 (須賀川三)
金井 翼 (郡山三) 菊地 瑛介 (須賀川二)
松野 光真 (郡山一) 込山恵太郎 (須賀川三)

第68回福島県高等学校体育大会

体操部 [あづま総合体育館：5/27～5/29]

男子団体 2位 榎田 吾郎 (郡山三) 本田 悠馬 (緑ヶ丘)
古川 空琉 (郡山三) 渡部 琉成 (郡山三)
男子種目別跳馬 3位 古川 空琉 (郡山三)
女子団体 2位 渡辺 華梨 (郡山二) 大和田歩華 (緑ヶ丘)
柳沢 美虹 (行健) 佐藤 杏 (郡山一)
川崎 瑞歩 (片平) 小檜山萌花 (郡山六)

ライフル射撃部 [二本松総合射撃場：6/5]

BRS60JM 優勝 赤松 昌 (ザペリオ)
2位 鈴木 志門 (矢祭)
3位 家久来 蒼 (安積)
BRS60JW 優勝 大槻 真子 (行健)
2位 神野 雅 (二本松二)
3位 古川 裕菜 (ザペリオ)
BP60MJ 優勝 須藤 巧 (棚倉)
2位 平井 煌太 (郡山五)
3位 木伏 大翔 (白河二)

男子団体 優勝
女子団体 優勝

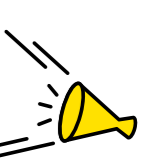
相撲部 [郡山相撲場：6/4～6/5]

団体 優勝 工藤 心暖 (坂下) 佐藤慎之助 (坂下)
佐藤 悠佑 (蓬萊) 工藤 礼暖 (坂下)
國分 夏 (三穂田)
無差別級 2位 佐藤 悠佑 (蓬萊)
3位 國分 夏 (三穂田)
100kg以上級 2位 國分 夏 (三穂田)
3位 佐藤 悠佑 (蓬萊)
100kg級 優勝 工藤 礼暖 (坂下)
80kg級 2位 佐藤慎之助 (坂下)

柔道部 [河東総合体育館：6/3～6/6]

女子団体 3位 三瓶 梓里 (郡山一) 芝田 姫穂 (郡山一)
男子個人 3位 鈴木 廉司 (須賀川三)

クラブ活動の記録



陸上競技部 [とうほう・みんなのスタジアム：5/27～5/30]

男子100m 2位 齋藤 慧舟 (白河二)
3位 星 友哉 (白河二)
男子200m 2位 齋藤 慧舟 (白河二)
3位 星 友哉 (白河二)
男子110mH 3位 三瓶 祐紀 (郡山二)
男子400mH 2位 佐藤 唯 (白河中央)
男子4×100mR 優勝 佐藤 武蔵 (若松二) 齋藤 慧舟 (白河二)
星 友哉 (白河二) 箭内 洸斗 (船引)
男子4×400mR 優勝 菊池 聖真 (矢祭) 佐藤 唯 (白河中央)
星 友哉 (白河二) 藤 慧舟 (白河二)
男子走幅跳 優勝 曲山 純平 (福大附属)
3位 小針 幸誠 (矢吹)
男子三段跳び 優勝 曲山 純平 (福大附属)
男子砲丸投げ 優勝 渡邊 悠正 (原町二)
2位 関根 和哉 (本宮二)
男子八種競技 優勝 三瓶 祐紀 (郡山二)
女子200m 優勝 橋本 羽奈 (郡山四)
2位 田中 凜葵 (郡山一)
女子400m 優勝 橋本 羽奈 (郡山四)
女子4×100mR 優勝 穂積 美晴 (白河二) 田中 凜葵 (郡山一)
橋本 羽奈 (郡山四) 陣野 莉心 (白河二)
女子4×400mR 優勝 藤田 抄己 (棚倉) 穂積 美晴 (白河二)
田中 凜葵 (郡山一) 橋本 羽奈 (郡山四)
女子走高跳 3位 三宅 花音 (郡山四)
女子砲丸投げ 優勝 根本 穂波 (小野)
女子やり投げ 優勝 根本 穂波 (小野)

硬式テニス部 [会津総合運動公園テニスコート：6/4～6/6]

女子団体 2位 渡辺 里奈 (郡山五) 村上 凜奈 (郡山六)
大内 咲枝 (福大附属) 横田 結衣 (郡山七)
齋藤 菜緒 (大玉)
女子シングルス 3位 横田 結衣 (郡山七)
女子ダブルス 3位 大内 咲枝 (福大附属) 横田 結衣 (郡山七)
女子ダブルス 3位 渡辺 里奈 (郡山五) 村上 凜奈 (郡山六)

第75回福島県総合体育大会体操競技

体操部 [あづま総合体育館：6/9～6/10]

男子団体 3位 榎田 吾郎 (郡山三) 本田 悠馬 (緑ヶ丘)
古川 空琉 (郡山三) 渡部 琉成 (郡山三)
女子団体 2位 渡辺 華梨 (郡山二) 大和田歩華 (緑ヶ丘)
柳沢 美虹 (行健) 佐藤 杏 (郡山一)
川崎 瑞歩 (片平) 小檜山萌花 (郡山六)

第42回東北高等学校馬術選手権大会

馬術競技 [南相馬市馬事公苑：6/10～6/12]

優勝 秋葉 大地 (上市市北)

東北高等学校柔道大会

柔道部 [秋田県立武道館：6/24～6/26]

男子個人 鈴木 廉司 (須賀川三)

クラブ活動の記録

第77回東北高校陸上競技大会

陸上競技部 [新青森運動公園：6/14～6/17]

男子100m	優勝 齋藤 慧舟 (白河二)
	4位 星 友哉 (白河二)
	出場 佐藤 武蔵 (若松二)
男子200m	優勝 齋藤 慧舟 (白河二)
	5位 星 友哉 (白河二)
男子400m	出場 佐久間翔梧 (鏡 石)
男子100mH	出場 三瓶 祐紀 (郡山二)
男子400mH	4位 佐藤 唯 (白河中央)
男子4×100mR	2位 佐藤 武蔵 (若松二) 齋藤 慧舟 (白河二)
	星 友哉 (白河二) 箭内 光斗 (船 引)
男子4×400mR	優勝 菊池 聖真 (矢 祭) 佐藤 唯 (白河中央)
	星 友哉 (白河二) 齋藤 慧舟 (白河二)
男子走り幅飛び	2位 曲山 純平 (鶴大附属)
	出場 小針 幸誠 (矢 吹)
	出場 箭内 光斗 (船 引)
男子三段跳び	7位 曲山 純平 (鶴大附属)
	出場 佐藤 武蔵 (若松二)
男子砲丸投げ	7位 渡邊 悠正 (原町二)
	9位 関根 和哉 (本宮二)
男子円盤投げ	出場 関根 和哉 (本宮二)
男子やり投げ	出場 三瓶 祐紀 (郡山二)
男子八種競技	優勝 三瓶 祐紀 (郡山二)
女子100m	出場 田中 凜葵 (郡山一)
	出場 陣野 莉心 (白河二)
女子200m	7位 橋本 羽奈 (郡山四)
	出場 田中 凜葵 (郡山一)
	出場 穂積 美晴 (白河二)
女子400m	8位 橋本 羽奈 (郡山四)
女子1500m	出場 山口ありす (郡山五)
女子4×100mR	3位 穂積 美晴 (白河二) 田中 凜葵 (郡山一)
	橋本 羽奈 (郡山四) 陣野 莉心 (白河二)
女子4×400mR	8位 藤田 抄己 (棚 倉) 穂積 美晴 (白河二)
	田中 凜葵 (郡山一) 橋本 羽奈 (郡山四)
女子走高跳	優勝 三宅 花音 (郡山四)
女子砲丸投げ	優勝 根本 穂波 (小 野)
	出場 服部 美咲 (西田学園)
女子円盤投げ	優勝 根本 穂波 (小 野)
女子やり投げ	4位 根本 穂波 (小 野)

第51回東北高等学校体操競技・新体操選手権大会

体操部 [酒田市国体記念体育館：6/25～6/26]

男子団体	榎田 吾郎 (郡山三) 本田 悠馬 (緑ヶ丘)
	古川 空琉 (郡山三) 渡部 琉成 (郡山三)
女子団体	渡辺 華梨 (郡山二) 大和田歩華 (緑ヶ丘)
	柳沢 美虹 (行 健) 佐藤 杏 (郡山一)
	川崎 瑞歩 (片 平) 小檜山萌花 (郡山六)

県大会については3位以上を掲載
 東北大会については入賞者、全国大会については出場者を掲載
 () は出身中

第63回東北高等学校テニス選手権大会

硬式テニス部 [秋田県立中央公園：6/24～6/26]

女子団体	渡辺 里奈 (郡山五) 村上 凜奈 (郡山六)
	大内 咲枝 (鶴大附属) 横田 結衣 (郡山七)
	齋藤 菜緒 (大 玉)
女子シングルス	横田 結衣 (郡山七)

第73回東北高等学校相撲選手権大会

相撲部 [美里町南運動公園屋外相撲場：6/25～6/26]

団体	工藤 心暖 (坂 下) 佐藤慎之助 (坂 下)
	佐藤 悠佑 (蓬 萊) 工藤 礼暖 (坂 下)
	國分 夏 (三穂田)
無差別級	工藤 心暖 (坂 下) 佐藤慎之助 (坂 下)
	佐藤 悠佑 (蓬 萊) 工藤 礼暖 (坂 下)
	國分 夏 (三穂田)
100kg以上級	佐藤 悠佑 (蓬 萊) 國分 夏 (三穂田)
100kg級	工藤 礼暖 (坂 下)
80kg級	佐藤慎之助 (坂 下)

第8回全国女子相撲選抜ひめじ大会

相撲部 [姫路市網干南公園相撲場：5/29]

60kg未満級	出場 関下 爽夏 (鶴大附属)
---------	-----------------

第100回全国高等学校総合体育大会相撲競技大会

相撲部 [高知県立県民体育館：7/26～7/28]

団体	工藤 心暖 (坂 下) 佐藤慎之助 (坂 下)
	佐藤 悠佑 (蓬 萊) 工藤 礼暖 (坂 下)
	國分 夏 (三穂田)
無差別級	佐藤 悠佑 (蓬 萊) 國分 夏 (三穂田)
100kg級	工藤 礼暖 (坂 下)

第33回全日本高等学校馬術選手権大会

馬術競技 [ノーザンホースパーク：8/9～8/10]

個人戦	秋葉 大地 (上市市北)
-----	--------------

令和4年度全国高等学校総合体育大会

陸上競技部 [アスティとくしま：8/3～8/7]

男子100m	齋藤 慧舟 (白河二) 星 友哉 (白河二)
男子200m	齋藤 慧舟 (白河二) 星 友哉 (白河二)
男子400mH	佐藤 唯 (白河中央)
男子4×100mR	佐藤 武蔵 (若松二) 齋藤 慧舟 (白河二)
	星 友哉 (白河二) 箭内 光斗 (船 引)
男子4×400mR	菊池 聖真 (矢 祭) 佐藤 唯 (白河中央)
	星 友哉 (白河二) 齋藤 慧舟 (白河二)
男子走り幅飛び	曲山 純平 (鶴大附属)
女子4×100mR	穂積 美晴 (白河二) 田中 凜葵 (郡山一)
	橋本 羽奈 (郡山四) 陣野 莉心 (白河二)
女子砲丸投げ	根本 穂波 (小 野)
女子やり投げ	根本 穂波 (小 野)
女子走高跳	三宅 花音 (郡山四)

クラブ活動の記録



体操部



男子硬式テニス



柔道部



女子硬式テニス



ラグビー部



サッカー部



バドミントン部



剣道部



弓道部



水泳部



女子バレーボール部



ボランティア委員会